

## みんなの俳句

うらやまがはちきれそうなせみのこえ

なかにしこのみ

「家のうらにある山にせみの声がいっぱいに響いています。夏の盛りをせいっぱい鳴き続けているそのこえを、作者は「はちきれそう」と表現しています。その音が聞こえてきそうですね。」

トロツコのすずしい風にぼうしぬぐ

中野晶太

「旅先でトロツコに乗ったとき、かぶっていたぼうしをぬぎたくなりました。すずしい風が、少し汗ばんだ頭や顔に気持ちよくあたります。夏の山の緑の中をトロツコが進んでいく様子と、さわやかな風を楽しんでいる作者の様子が目にうかんできます。」

オカリナの音は月夜にあうのです

渡辺仁美

「まん丸のお月様がゆったりと空にかかっています。すみきった空気の静かな夜。こんなきれいな月夜には、いつか聞いた、やさしく温かいオカリナの音がびったりだと思っただけですね。」

